

坂本チヨさん 100 歳おめでとうございます

6月25日、坂本チヨさん(草野)が100歳を迎えられました。
 チヨさんは、避難により、現在は南相馬市で生活しています。当日は、新型コロナウイルス感染症の影響で村や県の賀寿贈呈式は行われませんでした。村からの祝い金、村老人クラブからの祝い品と県からの賀寿は、郵送にて届けられました。
 チヨさんは、若い時からよく働き、避難前は家庭菜園を楽しむに生活をされ、避難後も運動のため近所を散歩するなどされていたそうです。長寿の秘訣は、しっかり働き、好き嫌いなく食事を摂ることだそうです。家族へのいたわりを忘れず、声掛けをするお人柄。村の恩恵にも感謝されていました。村で100歳を迎えられた方は、チヨさんで30人目です。



いちばん館で集団健診を行いました

7月、いいたて活性化センター「いちばん館」を会場に、集団健診を行いました。今年度は3密(密閉・密集・密接)を避けるため、ビレッジハウスを受付会場、「いちばん館」を健診会場として行いました。今回の集団健診は、約900の方が受診しました。
 集団健診を受けていない方は、村が指定した医療機関で受診してください。医療機関等について詳しくは6月に個別郵送している案内でご確認ください。



問 健康福祉課健康係 (いちばん館)
 ☎ 0244-42-1637



新しい生活様式で、夏を過ごしましょう！
 新型コロナウイルス感染症対策のための「新しい生活様式」が求められています。特に夏場は、暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」も必要になります。特に、高齢者や子どもが熱中症になりやすいので十分に注意してください。

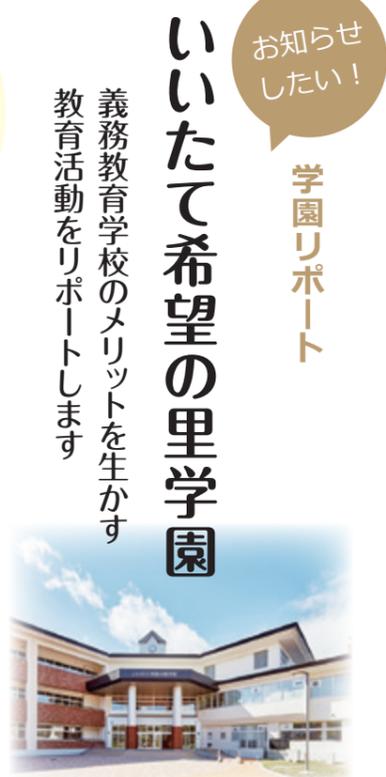


その1

「乗り入れ授業」を行っています

「乗り入れ授業」とは、小中学校の教員が、学年の区分を越え、相互に「乗り入れ」をして行う授業のことです。子ども達は、教科ごとに先生が変わる後期課程の学びにスムーズに慣れることができる他、先生方も、児童生徒の学びの実態に合わせた指導を工夫できるなど、多くのメリットがあります。
 「いいたて希望の里学園」では、4・5・6年生の算数科の授業を、前期課程の教諭と、後期課程の数学科担当教諭が一緒に行っています。

- 先生方もメリットを実感しています
- 2人で分担をしながら、きめ細かく児童生徒の指導ができます。
- 児童生徒のつまづきが前期課程のどこにあるのかが分かり、後期課程の指導に生かすことができます。



いいたて希望の里学園では、小学校の6年間にあたる課程を「前期課程」、中学校3年間にあたる課程を「後期課程」と呼んでいます。

普段の子ども達のようにすはHPで

いいたて希望の里学園

までいの里のこども園



学園 NEWS

7月2日、「いいたて希望の里学園」の7～9年生に、村民向け「予算書」までいな「みんなの「予算書」」を贈呈しました。贈呈式では、予算書を読んだ生徒から「依存財源がなくなっても大丈夫ですか」「までいブランドとは」「ずっと村で暮らしたいので高校を作ってほしい」など質問・意見があり、菅野村長が、生徒の思いをくみながら、「つひとつ丁寧」に答えました。